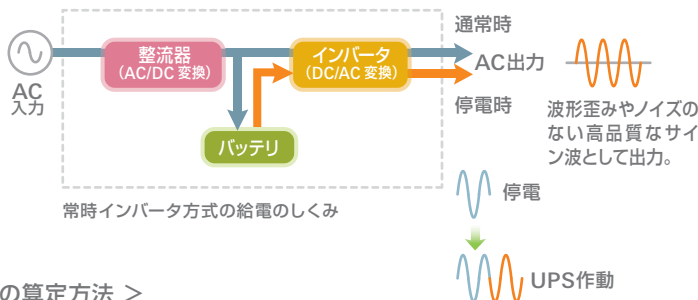


▶ UPS(無停電電源装置)の選び方

停電や電圧低下、商用交流の波形歪みなど、さまざまな電源障害による不測のシステムダウンを防ぐのがUPS(無停電電源装置)。用途に応じた機種が豊富にラインナップされています。

UPSの主な給電方式

- 常時商用方式
(矩形波出力)
- ラインインタラクティブ方式
(サイン波出力)
- 常時インバータ方式
(サイン波出力。無瞬間で接続するので、波形の途切れがない)



< UPS容量の算定方法 >

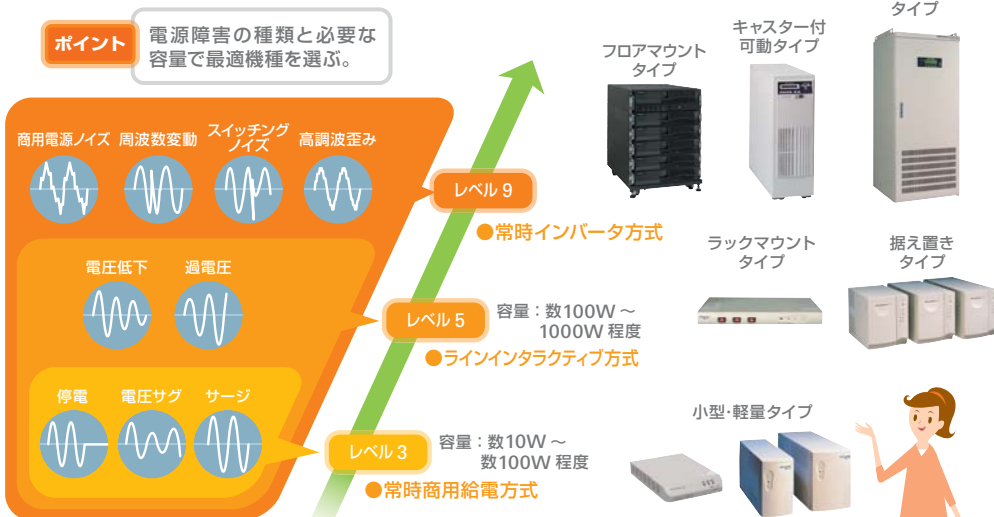
- 総容量 (VA) = $\left(\text{VA 表記機器の合計容量} \right) + \left(\text{W 表記機器の合計容量} \div 0.6 \right)$
- 総容量 (W) = $\left(\text{VA 表記機器の合計容量} \times \text{力率} \right) + \left(\text{W 表記機器の合計容量} \right)$

V, A で表記されている場合は双方の数値を掛ける (例: 100V, 1.8A → 180VA)
* 力率は接続機種により異なるので注意。一般的に 0.6 ~ 0.8。

算出した双方の数値より、大きい容量のUPSを選定する。バックアップ時間も余裕をもたせる。

UPSは容量と電源障害のレベルによって多種多様なタイプがある。

< 電源障害の種類およびTDK-Lambda UPSの区分 >



保護できる電源障害の数によるレベル分けと、それに対応した給電方式。